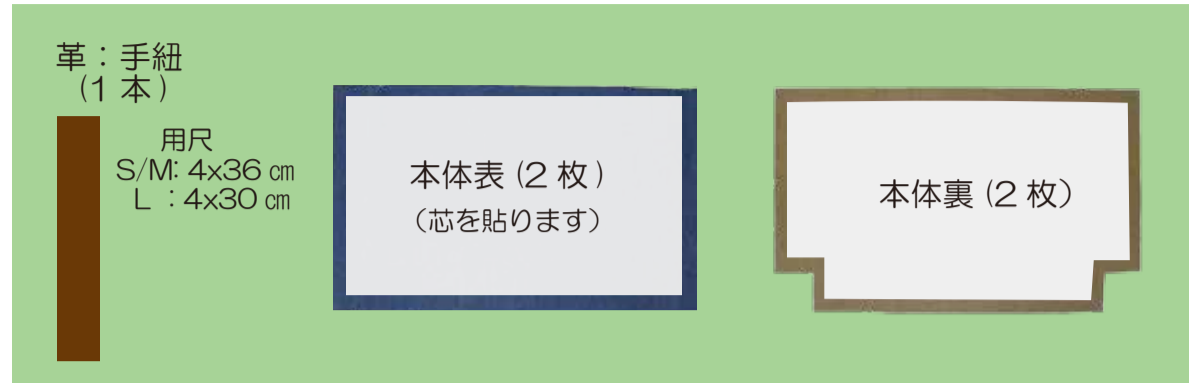


参考作品



縫代の付け方 (参考)

型紙には縫代は含まれておりません
1cmの縫代を付けて裁断して下さい



※(芯を貼ります)の表記は接着芯を貼る場合の目安です。
生地厚さやお好みにより、貼らなくてもお作り頂けます
接着芯を使用する場合は、表地と同じ大きさに裁断して表地の裏に貼ります

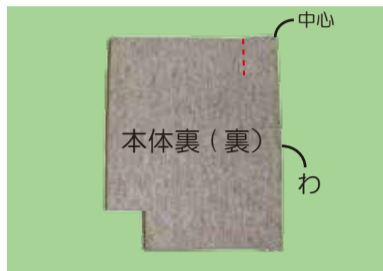


① タックをたたむ

①-1 本体表のタックを中縫い止まりまで縫う (2枚)



①-2 表に返し、タックをたたみ、仮止めをする (2枚)



①-3 同様に本体裏のタックを中縫い止まりまで縫う (2枚)



①-4 表に返し、タックをたたみ、仮止めをする (2枚)



② 口を縫う

本体表と裏を中表に合わせ、口を縫う



③ 本体表の底を縫う

③-1 ②を広げ本体表を中表に合わせ底を縫う



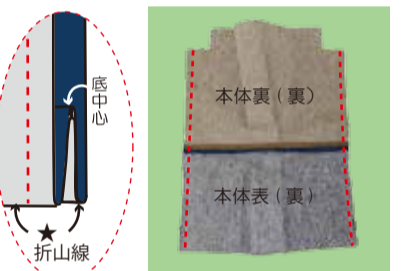
③-2 底の縫い代を割る



③-3 表に返し本体底を出来上がりで折り、折山線の端から直角に7mm縫う



③-4 裏に返し本体底を折山線で折り、形を整える



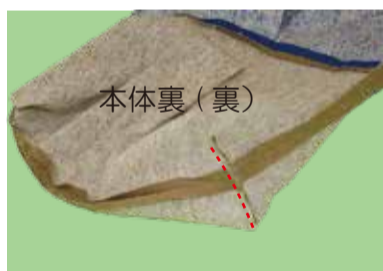
④ 脇を縫う

本体裏を中表に合わせ、本体表・裏の脇を続けて縫う



⑤ 本体裏の底を縫う

⑤-1 本体裏の底を縫う (返し口を開けておく)



⑤-2 本体裏のマチを広げ、縫う



⑥ 口にステッチする

表に返し口にステッチする



⑦ 手紐を付ける

手紐を付け位置に合わせて縫う



⑧ マグホックを付ける

本体裏のマグホック付け位置にマグホックを付ける
(下記マグホックの付け方参照)

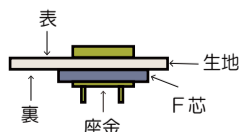


⑨ 返し口を縫う

返し口を出来上がりに折り、縫う

マグホックの付け方

※マグホック…バッグの開閉に使われる磁石で出来ているパーツ



ペラペラ芯…合皮にシール加工したもの
F芯…合成芯にシール加工したもの



マグネットホック付け位置と座金の中心を合わせ、切り込み位置の印を付け、印にノミ又はカッターなどで切り込みを入れる (F芯にも同様に切り込みを入れる)



本体の表からマグホックの足を通す



本体の裏からマグホックの足にF芯を通す



座金を通し、ペンチなどを使い、足が平らになるように外側へ倒す



座金と足の金属から生地を保護するために、上からペラペラ芯を貼る